



## 第52期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

**MOBILE SPACE** by 三協フロンテア

## 株主の皆様へ



このような情勢のなか、当社グループは、一部には工事の休止や遅れが発生し、感染拡大防止のために社員の活動が制限されるなどの影響がみられましたが、3密対策やテレワークの導入など、新たな空間を必要とする、または、既存の空間を拡張するといった需要の高まりを受け、展示場の来場者やホームページの問い合わせが大きく増加するなど、事業は比較的堅調に推移いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間は売上高、利益ともに前年を上回る結果となりました。

社会環境が大きく変わり、今までの都市集中型の生活から、郊外に住み自宅や近くのサテライトオフィスに勤務するなど、暮らし方や働き方が変わりつつあります。そして、この動きは今後一層加速していくものと考えております。このような社会の変化に対し、当社のモバイルスペースは、必要なときに、必要なだけ、必要な空間を提供することで、様々な空間ニーズに適応し、お客様や社会に対して貢献できるものと確信しております。

これからも、2018年4月より掲げている新しい10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」に沿い、お客様の夢や想いを実現することで、社会から必要とされ、そして社会に貢献する会社を目指してまいります。

株主の皆様さまにおかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長

長巻貴嗣

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第52期(2020年4月1日～2020年9月30日)報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々には一日も早い回復をお祈り申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出制限やグローバルサプライチェーンの寸断などにより、世界的に経済活動が大きく制限されるなど、かつて経験したことのない状況となりました。日本におきましても、オリンピックの開催延期や、学校の休校措置をはじめとした様々な活動自粛により、多くの企業や人々に影響が生じております。いったんは感染者数も低下し、経済活性化の各種政策も実施されるなど、持ち直しの兆しも見えてまいりましたが、再び世界的に感染が拡大しており、企業収益や雇用環境の一層の悪化が懸念されるなど、先行きは不透明となっております。

## 基本理念

### 目的(存在理由)

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観(不変の主義)

#### 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。

#### 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々<sup>\*</sup>に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

## 新10年ビジョンの進捗

「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する。」

2018年より始動した新10年ビジョンに沿い、事業領域の拡大、市場の拡大、新たな製品とサービスの開発に取り組んでおります。事業領域としては、2019年に名古屋市に開設した茶屋ヶ坂駅前店に続き、つくば総合展示場内にレンタルスペースの店舗を開設するなど、様々な不動産サービスへの展開を進めております。つくば総合展示場では、カフェモデルや大空間ルームのレンタルスペースを設置し、お客様に実際にご利用いただくだけでなくモデルルームとしても活用しております。展示場は全国で200か所を超えており、実製品を体感できる本建築中心の展示場を設置するとともに、ホームページを充実させることで、Webと実店舗が融合した提案力のある営業体制構築を進めております。

また、一般のお客様への認知度向上を図るため、モバイルスペースのイメージ浸透を狙った新たなテレビCMを制作し、メディアへの露出も増やしております。

海外展開につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてはありますが、新規製品のプランニングや開発業務を海外子会社と共同で実施するなど、着実に活動を広げております。今後もASEAN地域を中心にグループ一体となって事業を展開してまいります。



つくば総合展示場 外観



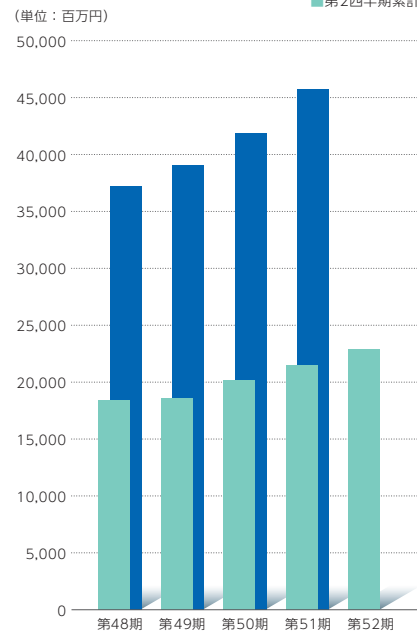
つくば総合展示場 内観

## 業績ハイライト(連結)

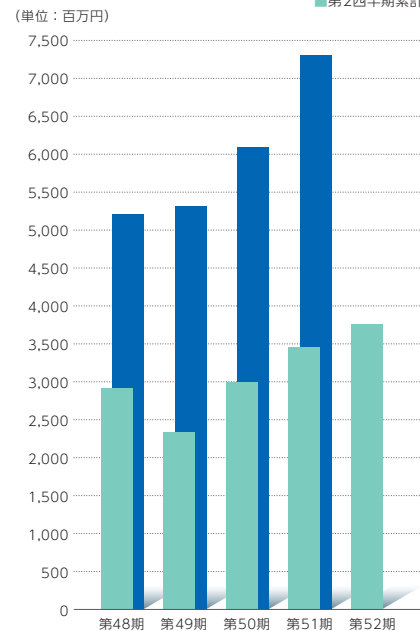
区分	期別	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期第2四半期 (2020年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期第2四半期 (2021年3月期)
売上高(百万円)		37,194	39,065	41,856	21,520	45,754	22,929
経常利益(百万円)		5,208	5,318	6,090	3,456	7,303	3,759
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		3,087	3,361	3,838	2,048	4,659	2,285
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		277.78	302.46	345.39	184.30	419.24	205.66
総資産(百万円)		55,537	57,629	60,302	61,808	63,397	63,563
純資産(百万円)		27,121	29,633	32,334	33,821	35,768	37,384

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

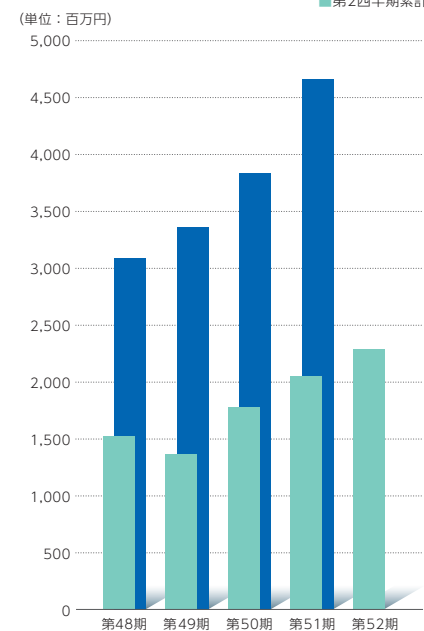
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の売上高は22,929百万円(前期同期比6.6%増)、営業利益は3,760百万円(前期同期比8.6%増)、経常利益は3,759百万円(前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,285百万円(前年同期比11.6%増)となり、売上高、利益額ともに前年を上回る結果となりました。

ユニットハウスのレンタルについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部工事の休止や延期の動きが見られましたが、首都圏を中心に継続して行われている再開工事などの大型案件や、プラントの定期修繕等についても受注活動に積極的に取り組んだ結果、出荷棟数・稼働棟数ともに堅調に推移し、連結売上高は前年同期比7.5%増となりました。

ユニットハウスの販売については、コロナ禍に対応する新生活様式により、テレワークスペースや販売店舗など、新たな空間のニーズが高まったことを受け、展示場来場者数やホームページの問い合わせ数は前年を大きく上回って推移いたしました。主に一般事業法人向けに事務所や店舗を販売する本設販売と、主に小型で安価な製品を販売するミニハウス販売の両方ともに売上高は前年を上回り、連結売上高は前年同期比6.4%増となりました。

トランクルームのレンタルについても、設備やワークスペースなどの付帯サービスを設けた店舗を含めて、前期末より店舗数を8店舗増やすなど事業拡大を進め、連結売上高は前年同期比5.9%増となりました。

総資産は前連結会計年度末に比べ166百万円増加し、63,563百万円となりました。純資産の合計額は前連結会計年度に比べ1,616百万円増加して37,384百万円となり、自己資本比率は58.8%と安定しております。



カフェレストラン外観



カフェレストラン内観



スポーツカフェ外観

## 新型コロナウイルス感染症による空間ニーズへの対応

現在、世界的に感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症により、今年度の日本経済は4月から大きく影響を受けました。4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発出されると、4月16日には全国へと拡大され、外出自粛要請や営業時間の短縮により企業活動は大幅な制限を余儀なくされ、経済は停滞いたしました。

当社においても当初は営業活動が停滞することを想定しておりましたが、4月以降も全国の展示場にたいへん多くのお客様にご来場いただく状況が続き、当上半期の来場者数は前年度に比べ20%を超える増加となりました。

また当社ホームページについても、アクセス数は前年度に比べ50%近い増加となり、問い合わせ件数についても、デジタルカタログの導入やLINE、チャットといったアクセス方法を整備したことも加わり、前年度に比べ30%を超える増加となりました。

お問い合わせが増加したのは、新型コロナウイルスに対応するために社会環境が急激に変化し、それに伴って、空間を広げる、あるいは分割して利用するというニーズが高まったことによるものです。

空間を広げるニーズとしては、職場のスペースを広げるため、周りの書類や荷物を保管する倉庫を購入された例や、学生寮で複数人数の部屋から個室へと変更を検討される例などがありました。また、工業プラント内の定期修繕工事時に使用する事務所について、ソーシャルディスタンスを確保するため1人当たりの使用面積を広げ、以前よりも広い間取りとされるなど、出荷棟数の増加につながる例もみられております。

空間を分割するニーズとしては、病院の発熱外来棟や、PCR検査棟、院内感染を防ぐために医療従事者が利用する別空間



キャンプ場施設



飲食販売店外観



病院外観



病院内観

を増設するなど、医療関係の問い合わせを多数いただいております。個人のお客様からは、ご自宅の庭に事務所や在宅勤務用のスペースを設置するお話や、子供達のオンライン学習用に別棟を用意する、あるいは運動不足解消のために専用のジムを建てたいというお問い合わせもいただきました。なかには、家族が新型コロナウイルスに感染した場合に備えて別棟を建てるとのご要望もございました。

販売やレンタルだけでなく、当社内のスペースをお客様にご利用いただくレンタルスペースの店舗も好評いただいております。2019年4月に開設したレンタルスペース茶屋ヶ坂駅前店に続き、2020年5月にレンタルスペースつくば店を開設し、サービスを開始いたしました。つくば店はつくば総合展示場の中にモデルルームを兼ねて設置しており、SOHOモデルやキッチンをついたカフェモデル、ガレージも合わせた大空間ルームなど、多くのタイプを設けております。お客様にご覧になっていただくだけでなく、実際に利用して体感していただく、当社展示場の新たな取り組みの一環でもあります。

新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため在宅勤務が広がるなか、ワーキングスペースとしてご利用されるほか、ご自宅や外出先では行いにくいオンラインでの打ち合わせを行う場所としても活用されております。企業のオンライン面接を受けるためにご利用される方もいらっしゃいました。

社会環境の大きな変化により、空間のニーズも大きく変化してまいりました。今後も当社が得意とする様々な空間のサービスをご提供することで、お客様や社会に対して貢献していけるものと確信しております。



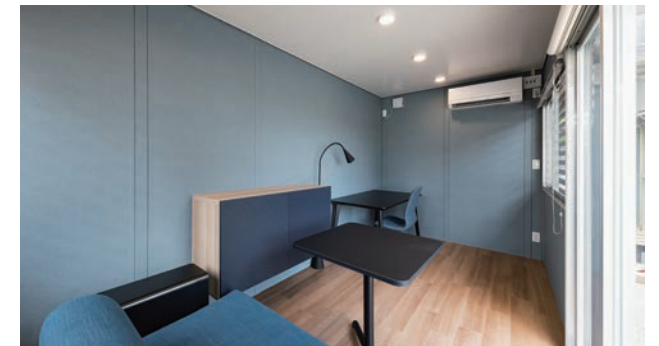
宇都宮中今泉店外観



宇都宮中今泉店内観



レンタルスペースモデルルーム



レンタルスペースオフィスタ입内観

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	第52期第2四半期 (2020年9月30日)	第51期末 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,806</b>	<b>16,927</b>
現金及び預金	3,984	3,075
受取手形	622	860
電子記録債権	853	845
営業未収入金	4,745	5,415
売掛金	2,280	2,598
棚卸資産	3,860	3,597
その他	519	595
貸倒引当金	△60	△61
<b>固定資産</b>	<b>46,757</b>	<b>46,470</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>43,316</b>	<b>43,233</b>
レンタル資産	24,351	24,327
建物及び構築物	6,837	6,818
土地	9,921	9,643
その他	2,206	2,443
<b>無形固定資産</b>	<b>485</b>	<b>299</b>
投資その他の資産	2,956	2,937
<b>資産合計</b>	<b>63,563</b>	<b>63,397</b>

(単位:百万円)

	第52期第2四半期 (2020年9月30日)	第51期末 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>17,012</b>	<b>20,746</b>
支払手形	389	419
電子記録債務	5,674	6,722
買掛金	1,151	1,501
短期借入金	3,441	4,910
未払費用	1,986	2,426
未払法人税等	1,579	1,559
賞与引当金	542	519
その他	2,247	2,680
<b>固定負債</b>	<b>9,166</b>	<b>6,882</b>
長期借入金	6,617	4,218
役員退職慰労引当金	125	120
退職給付に係る負債	1,216	1,192
その他	1,207	1,351
<b>負債合計</b>	<b>26,179</b>	<b>27,628</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>37,377</b>	<b>35,758</b>
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	33,370	31,751
自己株式	△315	△315
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	0	△1
為替換算調整勘定	16	28
退職給付に係る調整累計額	△9	△17
<b>純資産合計</b>	<b>37,384</b>	<b>35,768</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>63,563</b>	<b>63,397</b>

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第52期第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	22,929	21,520
売上原価	13,041	12,294
売上総利益	9,888	9,226
販売費及び一般管理費	6,127	5,764
<b>営業利益</b>	<b>3,760</b>	<b>3,461</b>
営業外収益	35	42
営業外費用	36	47
<b>経常利益</b>	<b>3,759</b>	<b>3,456</b>
特別利益	0	-
特別損失	2	69
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,757</b>	<b>3,387</b>
法人税等	1,471	1,338
<b>四半期純利益</b>	<b>2,285</b>	<b>2,048</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,285	2,048

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第52期第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,796	321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,095	△1,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	216	1,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△14
現金及び現金同等物の増減額	909	398
現金及び現金同等物の期首残高	2,935	3,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,844	4,391

## 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第52期第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	第51期第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,285	2,048
その他の包括利益	△2	△5
<b>四半期包括利益</b>	<b>2,282</b>	<b>2,042</b>

## 企業の概要 (2020年9月30日現在)

商号 三協フロンティア株式会社

本社所在地 〒277-8539 千葉県柏市新十番二五番地

資本金 15億4,545万円

代表者 代表取締役社長 長妻 貴嗣

設立 1969年12月5日

事業内容 1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル  
2. トランクルームの製造・販売・レンタル  
3. レンタルスペースの運営  
4. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル  
5. 植物工場の製造・販売・レンタル

役員 代表取締役社長 長妻 貴嗣  
専務取締役 端山 秀人  
取締役 三戸 茂夫  
取締役 小嶋 俊一  
取締役 藤田 剛  
取締役 安齋 光晴  
社外取締役 野倉 学  
常勤監査役 村井 康之  
社外監査役 山崎 直人  
社外監査役 石黒 博  
社外監査役 寺嶋 哲生

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-1)第18154号

一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1704-1483号

## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 30,000,000株

発行済株式の総数 11,678,400株  
(うち自己株式565,591株)

1単元の株式の数 100株

株主数 1,853人  
(2020年3月末比149名増)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,657	14.92
(株)日本カストディ銀行(信託口)	461	4.16
長妻 和男	324	2.92
三協フロンティア従業員持株会	162	1.46
(株)日本カストディ銀行(証券投資信託口)	145	1.31
SUS(株)	105	0.95
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	95	0.86

(注) 1. 当社は自己株式を565,591株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告 (URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
東京証券取引所JASDAQスタンダード

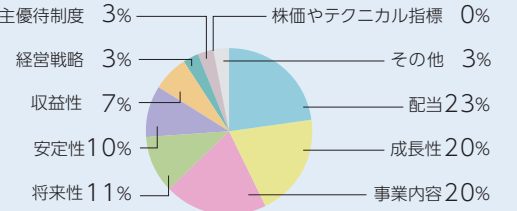
### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

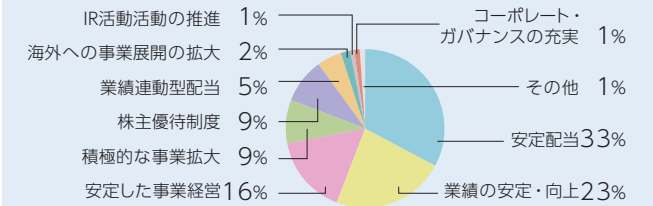
## アンケート結果のご報告

「第51期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。235名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。  
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしていまいります。

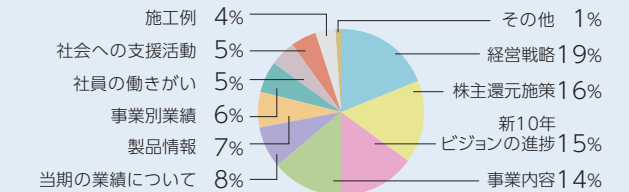
### Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答)



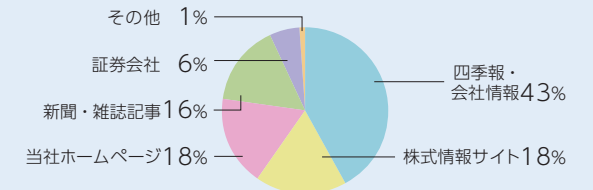
### Q2 当社の株式を長期保有する場合は何を重視されるかお聞かせください。(複数回答)



### Q3 今後、どのような情報提供を望まれるかお聞かせください。(複数回答)



### Q4 当社に関する情報をどこから入手されていますか。



## 企業CM第2弾「DANCING SPACE」篇 オンエア中

当社では企業認知度の向上を目指して広告活動を行っております。認知度を高めることにより、優秀な人材の獲得につなげ、さらなる組織の強化を図ってまいります。

### TVCM「DANCING SPACE」篇



リモートワークが進んだことで、働く場所は自由になりました。通勤など移動が少なくなったことで、暮らす場所も自由になりました。そんな世の中の様々な変化に合わせて、建物や空間の価値も、大きな変化が求められています。

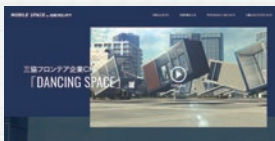
映像では、空間を動かすことで生まれるワクワクする未来を、音楽にあわせて自由に踊るユニットハウスで表現しました。新型コロナウイルス感染症の流行がきっかけとなり、従来の暮らし方や働き方が見直されているこの機会に、動かせる空間「MOBILE SPACE」の可能性や期待感を感じていただければ幸いです。

### 「DANCING SPACE」篇 特設ページを公開しています

三協フロンテア コーポレートブランドサイト内に、当CMの見どころや楽曲情報などを紹介するページを開設しました。映像もこちらからご視聴いただけます。

「DANCING SPACE」篇 特設ページはこちら

<http://www.sankyofrontier.com/mobilespace/advertising/cm/>



#### 現在提供中の番組

テレビ東京系「カンプリア宮殿」  
毎週木曜 21時54分～22時54分

日本テレビ系「アナザースカイⅡ」  
毎週金曜 23時00分～23時30分

日本テレビ系「真相報道バンキシャ！」  
(関東ローカル)  
毎週日曜 18時00分～18時55分



### 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り  
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>